

皆さんと一緒に考え提案します

斎藤竜一の7つの政策

1

子育て支援事業の推進

渋谷区子育てでニューボラを拠点として、渋谷区独自の子育て支援環境を推進します
待機児童対策を継続し、質の高い保育環境を整備します

2

家庭・学校・地域の中で心身ともに健全な教育の推進

未来につながるICT・英語教育を推進します

3

高齢者やハンディキャップがある人も安心して暮らせる環境づくりの推進

人生100年時代をみすえ介護予防事業を推進します

4

自然や環境に優しい街づくりの推進

防犯につながる、地域美化活動を推進します
プラスチック製品の削減や再資源化に取り組みます

5

震災などの都市型災害と地域犯罪対策の推進

地域の防災訓練など、ご近所の顔が見えるコミュニティを創造していきます
防犯カメラなどを拡充し、安全・安心な生活環境を構築します

6

活気ある商店街振興策の推進

キャッシュレス決済端末、観光WiFi環境の整備を拡充します

7

地域コミュニティ施設整備の推進

区内のあらゆる資源を活用し、福祉・子育ての拠点などコミュニティ施設を整備します



渋谷区議会議員

斎藤竜一 事務所

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-3
TEL. 03 (5333) 6735 FAX. 03 (5333) 6782 mapleryu@pe.catv.ne.jp



討議資料

あなたの一番近くの行政

渋谷区 暮らしのお手伝い

渋谷区政報告 施設整備計画特集号



渋谷区議会議員

斎藤竜一

自民党



渋谷区議会議員 **齋藤竜一**が

地元の皆様のご意見を反映させた**施設整備計画を推進します**



介護施設の拡充をしっかりと図り進めます

ケアコミュニティ・原宿の丘 建て替え

「ケアコミュニティ・原宿の丘」は、高齢者福祉施設、シニア・いきいきコミュニティ施設、防災施設の機能を備えた地域の福祉拠点施設として、長年多くの区民に利用され、これからも地元にならぬ施設であります。しかし、昭和35年に原宿中学校を開校して以来、建物の使用期間はすでに60年を超えており、雨漏りが目立つなど老朽化も著しく、計画的な改修や建替えが必要です。

区は、令和7年度～9年度を目処に工事着工を示していますが、建替えにあたっては、地元の方々からのご意見が多い「地域コミュニティ」「福祉」「子育て」など多方面に渡るご要望を、近隣にお住いの方々はもとより、既存のサービスの利用者や運営事業者も含めご意見をいただき、更に地域に愛される施設を実現します。



中長期的視点で施設整備を完遂します

千駄ヶ谷区民複合施設(仮称)計画

老朽化した「千駄ヶ谷区民会館」建替えは、区民会館機能に加え、集会場や会議室などの区民施設、子育て支援も行う認定こども園の併設が予定され、現在の2階建から、5階建へと延べ床面積が2.6倍にして計画された地元待望の施設として完成が待ち望まれています。しかし、コロナ禍で昨年からの建設資材が高騰したことに加え、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う物流の混乱もあり、資材価格の更なる上昇が懸念され、施設建設に対して不安の声も聞かれます。このような状況においても区民サービスの低下を防止し、景気の動向に左右されることなく整備を確実に進めるため、事業執行経費の適正化による歳出見直しと共に、渋谷区が計画的に積み立てた「都市整備基金」を効果的に活用し、持続可能な財政運営で、施設整備計画を完遂します。



令和4年度 第2回定例会 自民党議員団の提言

防災対策

防災力強化のひとつとして、「渋谷区防災アプリ」を通じて、リアルタイムに建物ごとの避難所や備蓄品利用状況、人流や物流の動きなどの変化を利用者に発信できるデジタル技術の推進を提言しました。



資源回収事業

資源回収事業は、廃プラスチックだけに止まらず、将来世代に良好な環境を残すため、再生家具事業を更に強化し、回収と販売の推進を行うことが、資源の有効活用の観点から大切な取組であると提言しました。



産業振興について

本区所在の企業が、公共の利益に貢献する企業として評価され国際認証(Bコープ認証)を取得することで、その便益を区民に還元することができるように区が支援すべきと提言しました。

※Bコープ認証：環境や社会に対する透明性や説明責任などにおいて高い基準を満たした企業に与えられる国際認証。日本版の検討が政府で始まりまし。

新型コロナ対策

新型コロナウイルスの感染後、コロナ後遺症が長引くことにより、今まで通りに働くことが出来ない方や、学業に支障をきたす方の対応として、区民が安心して相談でき、適切な検査や治療を受けられる体制を構築するよう要望しました。



不妊治療支援

本年4月から人工授精等の一般不妊治療、体外受精、顕微授精などの「生殖補助医療」について、保険適用の対象となりましたが、不妊治療は依然として高額です。不妊に悩む夫婦へのさらなる支援策として、区からの経済的支援を行うことを要望し、自己負担などを軽減するよう提言しました。

新しい学校づくり

シブヤモデル「未来の学校」として、次世代の子どもたちが、互いを認め合い共存関係を築く力や、基礎基本から無限の可能性を引き出す応用力や発想力など、未来に生き抜く力を学べる環境整備を目指します。

